

遺伝子組換え表示対象品目の見直し（平成20年度）について（案）

1. これまでの見直し経緯

遺伝子組換え食品の表示については、平成13年4月より、「食品衛生法」に基づく「食品衛生法施行規則（以下「規則」という。）」第21条及び「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（以下「JAS法」という。）」に基づく「遺伝子組換えに関する表示に係る加工食品品質表示基準第7条第1項及び生鮮食品品質表示基準第7条第1項の規定に基づく農林水産大臣の定める基準（以下「基準」という。）」により、表示が義務づけられている。

遺伝子組換え食品の表示対象品目については、規則別表第7並びに基準別表1及び別表2に掲げられているが、基準附則第2項では、1年ごとに見直しを行うこととされており、平成12年3月に基準が制定されて以来、「表示対象品目の見直しの進め方について」（別紙1）に従って、これまで毎年必要な見直しを行ってきたところである。

平成12年度	・高オレイン酸遺伝子組換え大豆及びその加工品を表示義務対象品目に追加。 （農林物資規格調査会部会（平成13年2月））
平成13年度	・ばれいしょ加工品を表示義務対象品目に追加。 （農林物資規格調査会遺伝子組換え食品部会（平成13年7月及び10月））
平成14年度	・見直しについて検討した結果、新たな品目の追加、変更は行わず。 （第3回食品の表示に関する共同会議（平成15年2月））
平成15年度	・見直しについて検討した結果、新たな品目の追加、変更は行わず。 （第14回食品の表示に関する共同会議（平成16年3月））
平成16年度	・アルファルファ及びアルファルファを主な原材料とするものを義務表示対象品目に追加。 （第22回食品の表示に関する共同会議（平成17年3月））
平成17年度	・てん菜及びてん菜（調理用）を主な原材料とするものを義務表示対象品目に追加。（第28回食品の表示に関する共同会議（平成18年3月））
平成18年度	・高リシン遺伝子組換えとうもろこし及びその加工品を表示義務対象品目に追加。（第32回食品表示に関する共同会議（平成19年3月））
平成19年度	・見直しについて検討した結果、新たな品目の追加、変更は行わず。 （第34回食品の表示に関する共同会議（平成20年3月））

現在、大豆、とうもろこし、ばれいしょ、なたね、綿実、アルファルファ及びてん菜の7つの農産物と、これを原材料とする加工食品のうち32食品群が遺伝子組換え表示の対象となっている。

2. 平成20年度における対象品目の見直し結果

平成20年度における対象品目の見直し結果は、以下のとおりである。

農産物及び加工食品

平成20年度においては、表示の対象品目に追加、変更はない。

前回見直しを行った平成20年3月からこれまでに食品としての安全性確認が行われた遺伝子組換え農産物に、作目として新たな追加はない（別紙2）。

今後、新たな農産物について食品としての安全性確認が行われ、我が国で流通する可能性が生じたものについては、すみやかに本共同会議に諮り、当該品目の追加について審議を行う。

(平成13年度第1回農林物資規格調査会遺伝子組換え食品部会資料1より抜粋)

平成13年7月16日
農林物資規格調査会部会

表示対象品目見直しの進め方について

遺伝子組換え食品の義務表示については、農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）に基づく遺伝子組換えに関する品質表示基準（以下「基準」という。）により、対象農産物として別表1に掲げる5つの農産物と、対象農産物を原材料とする加工食品であって、加工工程後も組み換えられたDNA又はこれによって生じたタンパク質が残存するものとして別表2に掲げる24の加工食品群がその対象として定められている。

これら義務表示の対象となっている食品については、上記基準の附則第2項により、遺伝子組換え農産物の流通実態、食品中のDNAの検出方法の進歩、消費者の関心等を踏まえ、1年ごとに見直しを行うこととされている。

この見直しについては、以下の方針で行うこととする。

1. 農産物

義務表示対象農産物については、組換えDNA技術を用いて生産された農産物の属する作目として基準の別表1に掲げられている。

別表1以外の農産物であって、厚生労働省における安全性確認が行われ、我が国で流通する可能性のあるものについては、本部会を開催し、当該品目の追加について審議を行うこととする。

なお、現在までのところ、新たな品目について安全性確認は行われていない。

2. 加工食品

義務表示対象加工食品については、義務表示対象農産物を原材料とする加工食品であって、加工工程後も組み換えられたDNA又はこれによって生じたタンパク質が残存するものとして24食品群が基準の別表2に掲げられている。

この義務表示対象加工食品の決定に際しては、平成11年に農林水産省において217点の食品を分析し、DNAが検出されたものを選定した。

本見直しにおいても同様の考え方をとることとし、義務表示対象農産物を原材料とする加工食品であって、義務表示対象加工食品以外の品目について、独立行政法人農林水産消費技術センターがその時点において確立された最新の検出技術によりDNA定性分析を行い、その分析結果に基づき、別表2の見直しを行うこととする。

3. 分析方法

前回の分析では、実態として遺伝子組換え農産物のみを用いて加工した食品が入手できないことから、市販の加工食品について、原料農産物に由来するDNAが残存しているかどうかをPCR法で分析し、残存が確認された場合には、遺伝子組換え農産物を原料に使用した場合に組み換えられたDNAも残存する可能性があるものとしており、本見直しにおいても、同様の方法を採用することとする。

安全性審査の経た遺伝子組換え食品及び添加物一覧

厚生労働省医薬食品局食品安全部
平成 21 年 3 月 27 日現在

1. 食品 (97 品種)

対象品種	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
じゃがいも (8品種)	ニューリーフ・ジャガイモ BT-6系統	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	ニューリーフ・ジャガイモ SPBT02-05系統	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	ニューリーフ・プラス・ジャガイモ RBMT21-129系統	害虫抵抗性 ウイルス抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.9.14
	ニューリーフ・プラス・ジャガイモ RBMT21-350系統	害虫抵抗性 ウイルス抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.9.14
	ニューリーフ・プラス・ジャガイモ RBMT22-82系統	害虫抵抗性 ウイルス抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.9.14
	ニューリーフY・ジャガイモ RBMT15-101系統	害虫抵抗性 ウイルス抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.5.6
	ニューリーフY・ジャガイモ SEMT15-15系統	害虫抵抗性 ウイルス抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.5.6
	ニューリーフY・ジャガイモ SEMT15-02系統	害虫抵抗性 ウイルス抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.6.30
大 豆 (5品種)	ラウンドアップ・レディー・大豆 40-3-2系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	260-05系統	高オレイン酸 形質	デュボン株式会社	Optimum Quality Grains LLC(米国)	2001.3.30
	A2704-12	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2002.7.8
	A5547-127	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2002.7.8
	除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2007.11.12
てんさい (3品種)	T120-7	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30.
	ラウンドアップ・レディー・テン サイ 77系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国) Syngenta Seeds AG (スイス)	2003.5.6
	ラウンドアップ・レディー・テン サイ H7-1系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.6.30

対象品種	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
とうもろこし (45品種)	Bt11	害虫抵抗性 除草剤耐性	シンジエンタシード株式会社	Syngenta Seeds AG (スイス)	2001.3.30
	Event 176	害虫抵抗性	シンジエンタシード株式会社	Syngenta Seeds AG (スイス)	2001.3.30
	Mon810	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	T25	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	DLL25	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	DBT418	害虫抵抗性 除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	ラウンドアップ・レディー・トウモ ロコシGA21系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	ラウンドアップ・レディー・トウモ ロコシNK603系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	T14	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	Bt11スイートコーン	害虫抵抗性 除草剤耐性	シンジエンタシード株式会社	Syngenta Seeds AG (スイス)	2001.3.30
	鞘翅目害虫抵抗性トウモロ コシMON863系統	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2002.2.21
	トウモロコシ1507系統	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社	Pioneer Hi-Bred International, Inc., Mycogen Seeds / Dow AgroSciences LLC (米国)	2002.7.8
	鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863系統とラウンドアッ プ・レディー・トウモロコシNK60 3系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.6.30
	ラウンドアップ・レディー・トウモ ロコシGA21系統とMON810を 掛け合わせた品種	除草剤耐性 害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.6.30
	ラウンドアップ・レディー・トウモ ロコシNK603系統とMON810 を掛け合わせた品種	除草剤耐性 害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.6.30
	T25とMON810を掛け合わ せた品種	除草剤耐性 害虫抵抗性	デュポン株式会社	Optimum Quality Grains LLC(米国)	2003.6.30
	トウモロコシ1507系統とラウンド アップ・レディー・トウモロコシ NK603系統を掛け合わせた品 種	害虫抵抗性 除草剤耐性	デュポン株式会社	Dow AgroSciences LLC / Pioneer Hi- Bred International, Inc.(米国)	2004.3.3
	MON810と鞘翅目害虫抵抗性 トウモロコシMON863系統を掛 け合わせた品種	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2004.3.3

対象品種	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
とうもろこし (45品種)	鞘翅目害虫抵抗性トウモロコシ MON863系統と鱗翅目害虫抵抗性トウモロコシMON810系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2004.10.5
	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 EventDAS-59122-7	害虫抵抗性 除草剤耐性	デュポン株式会社	Dow AgroSciences LLC / Pioneer Hi-Bred International, Inc.(米国)	2005.10.25
	除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統	除草剤耐性 害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2005.10.25
	除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810系統を掛け合わせた品種	除草剤耐性 害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2005.11.10
	トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	デュポン株式会社	Dow AgroSciences LLC / Pioneer Hi-Bred International, Inc. (米国)	2005.12.15
	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t.Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	デュポン株式会社	Dow AgroSciences LLC / Pioneer Hi-Bred International, Inc. (米国)	2005.12.15
	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t.Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7とトウモロコシ1507系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	デュポン株式会社	Dow AgroSciences LLC / Pioneer Hi-Bred International, Inc.(米国)	2005.12.15
	高リシントウモロコシLY038系統	高リシン形質	日本モンサント株式会社	Renessen LLC. (米国)	2007.4.12
	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ6275系統	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社	Dow AgroSciences LLC.(米国)	2007.8.17
	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604	害虫抵抗性	シンジェンタ シード株式会社	Syngenta Seeds,Inc. on behalf of Syngenta Crop Protection AG and its affiliates(スイス)	2007.8.17
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2007.11.6
	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	シンジェンタ シード株式会社	Syngenta Seeds,Inc. on behalf of Syngenta Crop Protection AG and its affiliates(スイス)	2007.11.6
	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	シンジェンタ シード株式会社	Syngenta Seeds,Inc. on behalf of Syngenta Crop Protection AG and its affiliates(スイス)	2007.11.6

対象品種	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
とうもろこし (45品種)	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	シンジェンタ シード株式会社	Syngenta Seeds, Inc. on behalf of Syngenta Crop Protection AG and its affiliates(スイス)	2007.11.6
	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	シンジェンタ シード株式会社	Syngenta Seeds, Inc. on behalf of Syngenta Crop Protection AG and its affiliates(スイス)	2007.11.6
	高リシントウモロコシLY038系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810系統を掛け合わせた品種	高リシン形質 害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Renessen LLC. (米国)	2007.11.12
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2008.2.12
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2008.2.12
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とトウモロコシ1507系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
	トウモロコシ1507系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とトウモロコシ1507系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とトウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18

対象品種	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
とうもろこし (45品種)	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
	トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とトウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社 日本モンサント株式会社	Monsanto Company Dow AgroSciences LLC.(米国)	2008.12.18
なたね (15品種)	ラウンドアップ・レディー・カノーラ RT73系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	HCN92	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	PGS1	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	PHY14	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	PHY35	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	PGS2	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	PHY36	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	T45	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	MS8RF3	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	HCN10	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	MS8	除草剤耐性 雄性不稔性	バイエルクロップサイエンス株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30

対象品種	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
なたね (15品種)	RF3	除草剤耐性 稔性回復性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	WESTAR-Oxy-235	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	PHY23	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2001.3.30
	ラウンドアップ・レディー・ カノーラ RT200系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.9.14
わた (18品種)	ラウンドアップ・レディー・ ワタ 1445系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	BXN cotton 10211系統	除草剤耐性	ストーンビルペディグリード シード [®] 社	Stoneville Pedigreed Seed (米国)	2001.3.30
	BXN cotton 10222系統	除草剤耐性	ストーンビルペディグリード シード [®] 社	Stoneville Pedigreed Seed (米国)	2001.3.30
	インガード・ワタ 531系統	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	インガード・ワタ 757系統	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2001.3.30
	BXN cotton 10215系統	除草剤耐性	ストーンビルペディグリード シード [®] 社	Stoneville Pedigreed Seed (米国)	2001.3.30
	鱗翅目害虫抵抗性ワタ 15985系統	害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2002.10.1
	ラウンドアップ・レディー・ワタ14 45系統とインガード・ワタ531系 統を掛け合わせた品種	除草剤耐性 害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.6.30
	鱗翅目害虫抵抗性ワタ15985 系統とラウンドアップ・レディー・ ワタ1445系統を掛け合わせた 品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2003.6.30
	LLCotton25	除草剤耐性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer CropScience (ドイツ)	2004.6.28
	除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2005.4.7
	除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913系統とチョウ目害 虫抵抗性ワタ15985系統を掛 け合わせた品種	除草剤耐性 害虫抵抗性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国)	2005.4.7
	ワタ281系統	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社	Mycogen Seeds / Dow AgroSciences LLC (米国)	2005.9.5
	ワタ3006系統	害虫抵抗性 除草剤耐性	ダウ・ケミカル日本株式会社	Mycogen Seeds / Dow AgroSciences LLC (米国)	2005.9.5

対象品種	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
わた (18品種)	ワタ281系統とワタ3006系統を 掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	タウ・ケミカル日本株式会社	Mycogen Seeds / Dow AgroSciences LLC (米国)	2005.10.6
	ワタ281系統とワタ3006系統と ラウンドアップ・レディー・ワタ14 45系統を掛け合わせた品種	害虫抵抗性 除草剤耐性	タウ・ケミカル日本株式会社	Mycogen Seeds / Dow AgroSciences LLC (米国)	2006.1.11
	ワタ281系統とワタ3006系統と 除草剤耐性ワタMON88913品 種	害虫抵抗性 除草剤耐性	タウ・ケミカル日本株式会社	Mycogen Seeds / Dow AgroSciences LLC (米国)	2006.2.14
	除草剤グリホサート耐性ワタ LLCotton25系統とチョウ目害 虫抵抗性ワタ15985系統を掛 け合わせた品種	除草剤耐性 害虫抵抗性	バイエルクロップサイエンス 株式会社	Bayer Crop Science AG (ドイツ) / Mons anto Company (米 国)	2006.8.15
アルファル ファ (3品種)	ラウンドアップ・レディー・アルフ アルファJ101系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国) Forage Genetics Inc. (米国)	2005.10.14
	ラウンドアップ・レディー・アルフ アルファJ163系統	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国) Forage Genetics Inc. (米国)	2005.10.14
	ラウンドアップ・レディー・アルフ アルファJ101系統とラウンドアッ プ・レディー・アルファルファJ1 63系統を掛け合わせた品種	除草剤耐性	日本モンサント株式会社	Monsanto Company (米国) Forage Genetics Inc. (米国)	2005.10.14

※「鱗翅目害虫」と「チョウ目害虫」、「鞘翅目害虫」と「コウチュウ目害虫」は同義です。

2. 添加物（14品目）

対象品目	名 称	性 質	申請者／開発者等		官報 掲載日 (年.月.日)
α-アミラーゼ	TS-25	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2001.3.30
	BSG-アミラーゼ	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2001.3.30
	TMG-アミラーゼ	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2001.3.30
	SP961	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2002.2.21
	LE399	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2005.10.31
	SPEZYME FRED™	耐熱性向上	ジェネンコア協和 株式会社	Genencor International, Inc. (米国)	2007.4.12
キモシン	マキシレン	生産性向上	株式会社ロビン	DSM (オランダ)	2001.3.30
	カイマックス	キモシン生産性	株式会社野澤組	CHR. HANSEN A/S (デンマーク)	2003.6.30
プルラナーゼ	Optimax	生産性向上	ジェネンコア・インターナショナル・ ジャパン・リミテッド 日本支店	Genencor International, Inc. (米国)	2001.3.30
	SP962	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2002.2.21
リパーゼ	SP388	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2001.3.30
	NOVOZYME677	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2003.6.30
リボフラビン	リボフラビン (ビタミンB ₂)	生産性向上	ロシュ・ビタミン・ジャパン 株式会社	F. Hoffmann-La Roche (スイス)	2001.3.30
グルコアミラーゼ	AMG-E	生産性向上	ノボザイムズジャパン 株式会社	Novozymes A/S (デンマーク)	2002.7.8

遺伝子組換え食品の表示

- 遺伝子組換え農産物及びこれを原料とした加工食品には、「食品衛生法（食品衛生法施行規則（以下「施行規則」）第21条）及び「JAS法（遺伝子組換えに関する表示に係る加工食品品質表示基準第7条第1項及び生鮮食品品質表示基準第7条第1項の規定に基づく農林水産大臣の定める基準（以下「基準」）により、以下のような表示が義務づけられています。

（遺伝子組換え食品の表示方法）

（1）従来のもとの組成、栄養価等が著しく異なるもの^{注1）}

高オレイン酸大豆及びこれを原材料とする大豆油等



義務表示

「大豆（高オレイン酸遺伝子組換え）」等

（2）従来のもとの組成、栄養価等が同等のもの

- ① 農産物及び加工後も組み換えられたDNA又はこれによって生じたタンパク質が残存する加工食品（豆腐、スナック菓子等32食品群）

ア 分別生産流通管理^{注2）}が行われた遺伝子組換え農産物、及びこれを原材料とする加工食品



義務表示

「遺伝子組換えのものを分別」「遺伝子組換え」等

イ 遺伝子組換え農産物と非遺伝子組換え農産物が不分別の農産物、及びこれを原材料とする加工食品



義務表示

「遺伝子組換え不分別」等

ウ 分別生産流通管理が行われた非遺伝子組換え農産物、及びこれを原材料とする加工食品



任意表示

「遺伝子組換えでないものを分別」「遺伝子組換えでない」等

- ② 加工後に組み換えられたDNA及びこれによって生じたタンパク質が残存しない加工食品（食用油、醤油等）



任意表示

注1）（1）は消費者の選択に資するための表示であり、JAS法（「基準」）のみにより定められている。

注2）遺伝子組換え農産物と非遺伝子組換え農産物を、農場から食品製造業者まで生産、流通及び加工の各段階で相互に混入が起こらないよう管理し、そのことが書類等により証明されていることをいう。

分別生産流通管理が適切に実施されている場合には、5%以下の意図せざる混入はやむを得ないものとして認められている。

○ 表示の対象となる食品

(1) 農産物（7作目）

大豆（枝豆及び大豆もやしを含む。）、とうもろこし、ばれいしょ、なたね、綿実、
アルファルファ、てん菜

(2) 加工食品（32食品群）

加工食品群	対象農産物
1 豆腐・油揚げ類	大豆
2 凍豆腐、おから及びゆば・	大豆
3 納豆	大豆
4 豆乳類・	大豆
5 みそ	大豆
6 大豆煮豆	大豆
7 大豆缶詰及び大豆瓶詰・	大豆
8 きな粉・	大豆
9 大豆いり豆・	大豆
10 1 から 9 までを主な原材料とするもの	大豆
11 大豆(調理用)を主な原材料とするもの	大豆
12 大豆粉を主な原材料とするもの	大豆
13 大豆たん白を主な原材料とするもの	大豆
14 枝豆を主な原材料とするもの	枝豆
15 大豆もやしを主な原材料とするもの	大豆もやし
16 コーンスナック菓子	とうもろこし
17 コーンスターチ	とうもろこし
18 ポップコーン	とうもろこし
19 冷凍とうもろこし	とうもろこし
20 とうもろこし缶詰及びとうもろこし瓶詰め	とうもろこし
21 コーンフラワーを主な原材料とするもの	とうもろこし
22 コーングリッツを主な原材料とするもの（コーンフレークを除く）	とうもろこし
23 とうもろこし(調理用)を主な原材料とするもの	とうもろこし
24 16 から 20 までを主な原材料とするもの	とうもろこし
25 冷凍ばれいしょ	ばれいしょ
26 乾燥ばれいしょ	ばれいしょ
27 ばれいしょでん粉	ばれいしょ
28 ポテトスナック菓子	ばれいしょ
29 25 から 28 までを主な原材料とするもの	ばれいしょ
30 ばれいしょ(調理用)を主な原材料とするもの	ばれいしょ
31 アルファルファを主な原材料とするもの	アルファルファ
32 てん菜(調理用)を主な原材料とするもの	てん菜

注1) 表中 10～15、21～24、29～32 は食品群を表しており、これに該当する加工食品は相当数になる。

注2) 主な原材料とは、加工食品の全原材料のうち、重量が上位3位までのもので、かつ原材料に占める重量割合が5%以上のものをいう。

注3) 組み換えられたDNA及びこれによって生じたタンパク質が、ひろく認められた最新の技術によっても検出できない加工食品については、表示の対象外としている。具体的には、醤油、大豆油、コーンフレーク、コーン油、異性化液糖などが該当する。